

カラフル

福井市中藤小学校
第4学年 学年だより
令和2年11月号

社会科の時間に、「福井県に古くから残るもの(建物や行事など)」に着目し、伝統や文化を受け継いでいくために「誰が」「どのように」取り組んでいるのかについて学習しています。

10月下旬に、「勝山左義長(勝山市)」について、この祭りに小さい頃から参加している本校の教員から、歴史やお囃子などを教えてもらいました。一緒に「左義長ばやし」の歌詞の一部を口ずさんでみたり、太鼓を実際にたたいてみたりと、体験をまじえながら楽しく学習することができました。



体全身で楽しく
太鼓を
たたけたよ



バチは意外に重かったよ



【みんなの感想より】

- 左義長の太鼓をたく人は3人いて、1人が太鼓に座ることで、音を調和するというのがすごかったです。音がいくつも合わさっているのに、どうしてこんなに良い感じになるのかが気になりました。
- 太鼓の上に人が座るなんて、最初は「不思議だな」と思いましたが、それにはちゃんと理由があり、勝山ならではの発想で左義長には工夫がたくさんあるのだなと思いました。左義長に行ける機会があったら行ってみたいと思いました。
- 勝山左義長祭りには子どもも参加していることを知り、祭りの大切さが伝わってきました。これからも福井の伝統を守り続けたいです。